

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅢ (4単位)	3. 科目番号	SNMP3357
2. 授業担当教員	庄司 妃佐		SCMP3357
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅢは、ソーシャルワークⅠ・ソーシャルワークⅡで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、多様な課題と支援の必要性を持つ現代社会のクライアントに、より専門的に対応、その課題等の解消と軽減に向け働きかけることのできる知識・技術としての実践理論・アプローチについて学習する。加えて、グループを用いた支援、あらゆる場面で必要とされるコーディネーションとネットワークング、関連する社会資源の調整と開発など、クライアントへの直接的・間接的相談援助技術について総合的・包括的に学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ソーシャルワークの定義と「相談援助」の対象について再確認する。</li> <li>2. ケースマネジメント (ケアマネジメント) についてその概要を理解する</li> <li>3. グループを活用した支援について理解する。</li> <li>4. コーディネーションとネットワークング、社会資源の調整・開発について理解する。</li> <li>5. ソーシャルワーク実践モデルとアプローチの概要と実践方法について理解する。</li> <li>6. スーパービジョンについて理解する。</li> <li>7. ケースカンファレンスについて理解する。</li> <li>8. 実践事例を通じて、相談援助に必要な専門知識・技術について横断的に活用ができる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題1：グループを活用した支援について説明せよ。</p> <p>レポート課題2：社会資源開発の方法について説明せよ。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅱ (新・社会福祉士養成講座8)』第3版、中央法規、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・8つの目標を達成することができたか。</p> <p>○評定の方法 (1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 20%、 (2) 課題レポート 30% (3) 試験 50%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>学生個人の思考力、想像力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術・知識を得ることを目的としている。そのために受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。受講生は積極的に授業に関与すること。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問をすること。理解できないことはその場で解決していくこと。</li> <li>3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。その場合は、必ず教員にその理由を書面で報告すること。</li> <li>4. 授業態度が明らかに悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合は、出席の有無にかかわらず単位認定されない。</li> </ol> <p>教員が実行すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生に聞こえやすく、わかりやすい説明を実行する。</li> <li>3. 常にディスカッションを行いながら、受講生が積極的に授業に参加できるような学習環境を作る。</li> <li>4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業中に不適切な態度があった場合は、厳格に注意する。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「ソーシャルワークⅢ」を学習するにあたっての説明と確認	事前学習	「ソーシャルワークⅠ」「ソーシャルワークⅡ」で学んだことを説明できるようにする。
		事後学習	「ソーシャルワークⅢ」のシラバスを確認し、課題内容を理解する。
第2回	社会福祉援助活動の概念と定義	事前学習	社会福祉援助活動についてワークシートにまとめる
		事後学習	
第3回	相談援助の対象について	事前学習	社会福祉における相談援助の対象について考える
		事後学習	社会福祉の相談援助の対象についてまとめる
第4回	グループワークについて 対象と、その形成過程	事前学習	自分が所属したグループについてワークシートに記入する
		事後学習	グループワークの形成過程についてまとめる

第5回	ケースマネジメントの基本：アセスメントから終結まで	事前学習	事例についての流れを確認する
		事後学習	ケースマネジメントの基本についてまとめる
第6回	ケースマネジメントの特徴と過程	事前学習	テキストで、ケースマネジメントについて重要な点をマークする
		事後学習	ケースマネジメントの特徴をまとめる
第7回	ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴 ケアプランの意義・作成の基本原則	事前学習	テキスト該当部分を読み込んで重要なところをマークする
		事後学習	ケアプランの意義とその作成の基本原則をまとめる
第8回	高齢者におけるケアマネジメントの特徴	事前学習	事例を読み込んで、重要な点をマークする
		事後学習	高齢者のケアマネジメントの特徴をまとめる
第9回	グループを活用した相談援助1 グループダイナミクス、グループの機能、リーダーの 類型論、PM理論について	事前学習	自分が所属したことのある集団について、ワークシートに記入する
		事後学習	集団の特性と分類についてまとめる
第10回	グループを活用した相談援助2 グループの発達について（1）	事前学習	事例を読み込んで、重要な点をマークする
		事後学習	グループの発達の段階をまとめる
第11回	グループを活用した相談援助3 グループの発達について（2）	事前学習	事例を読み込んで、重要な点をマークする
		事後学習	グループの発達の段階をまとめる
第12回	グループを活用した相談援助4 コノブカによるグループワークの14の原則	事前学習	グループの発達過程を確認する
		事後学習	コノブカの14の原則をまとめる
第13回	コーディネーションとネットワークング、アウトリーチ	事前学習	事例を読み込んで、重要な点をマークする
		事後学習	アウトリーチの方法についてまとめる
第14回	社会資源の活用・調整・開発の意義と目的	事前学習	自分の地域の社会資源を調べワークシートにまとめる
		事後学習	社会資源の内容の整理と、その開発についての目的をまとめる
第15回	第14回までのまとめと振り返り（確認テスト）	事前学習	14回までの授業で不明な点を書き出す
		事後学習	14回までの授業のまとめをする
第16回	様々な実践モデルとアプローチ1 相談援助の技術の分類と構成	事前学習	第6章を読み、実践モデルをマークする
		事後学習	
第17回	様々な実践モデルとアプローチ2 治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	3つのモデルの特徴をまとめる
第18回	様々な実践モデルとアプローチ3 心理社会的アプローチについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	
第19回	様々な実践モデルとアプローチ4 問題解決アプローチについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	問題解決アプローチの特徴をまとめる
第20回	様々な実践モデルとアプローチ5 機能論的アプローチについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	機能論的アプローチの特徴をまとめる
第21回	様々な実践モデルとアプローチ6 課題中心アプローチについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	課題中心アプローチの特徴をまとめる
第22回	様々な実践モデルとアプローチ7 危機介入・行動変容アプローチについて	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	危機介入についての対応をまとめる
第23回	様々な実践モデルとアプローチ8 ナラティブアプローチについて	事前学習	事例を読み込んでポイントと考えるところをマークする
		事後学習	ナラティブアプローチの展開をまとめる
第24回	様々な実践モデルとアプローチ9 エンパワメント、	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	エンパワメントの歴史についてまとめる
第25回	スーパービジョンの3つの機能について	事前学習	事前に配布された事例を読み、重要と考える部分をマークする
		事後学習	スーパービジョンについてその機能をまとめる
第26回	記録の書き方1 福祉分野の記録の書き方の類型について	事前学習	事例を読んで、記録にまとめる
		事後学習	事例の類型についてまとめる
第27回	記録の書き方2 プロセス法による事例分析の特徴	事前学習	記録の書き方のモデル回答を読んで、自分の回答との違いをマークする
		事後学習	プロセス法による事例方法の特徴をまとめる
第28回	ケースカンファレンスの意義と目的	事前学習	事例検討の事例を読んで、重要なところをマークする

			クする
		事後学習	ケースカンファレンスの意義と目的についてまとめる
第29回	システムの理解と危機理論 事例からみるシステム論を理解する	事前学習	事例を読んで、重要な点をマークする
		事後学習	システム理論についてまとめる
第30回	まとめ：16回～29回までの授業の振りかえり	事前学習	16回～29回までの授業で説明できない点を書き出す
		事後学習	16回～29回までの授業の振り返りとまとめ